

# 福島第一原子力発電所1/2号機排気筒解体 (遠隔解体の実証試験(モックアップ)の進捗状況)

2018/10/25

TEPCO

## 東京電力ホールディングス株式会社

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

### 1. 進捗状況

TEPCO

- 8月28日より1/2号機排気筒の解体装置の実証試験に着手している。
- 作業監視用の各種カメラ配置調整・切断ツールのパラメータ調整などの装置改良を都度実施しながら、解体装置の性能検証を実施している。
- また、切断作業に伴う装置振動によるセンサー不具合や、筒身切断時の切り屑回収機構の改良などが必要となる課題も確認されており、対応・検討中。



実証試験実施状況 (2018.9.28)



装置据付け時のカメラ画像

- 解体装置の性能検証作業を順次実施している。



支柱切断装置切断状況



斜材切断装置切断状況



6軸アームロボット梯子切断状況



遠隔操作車両内



内周切断時モニター確認状況



クロスハンガー吊り上げ状況

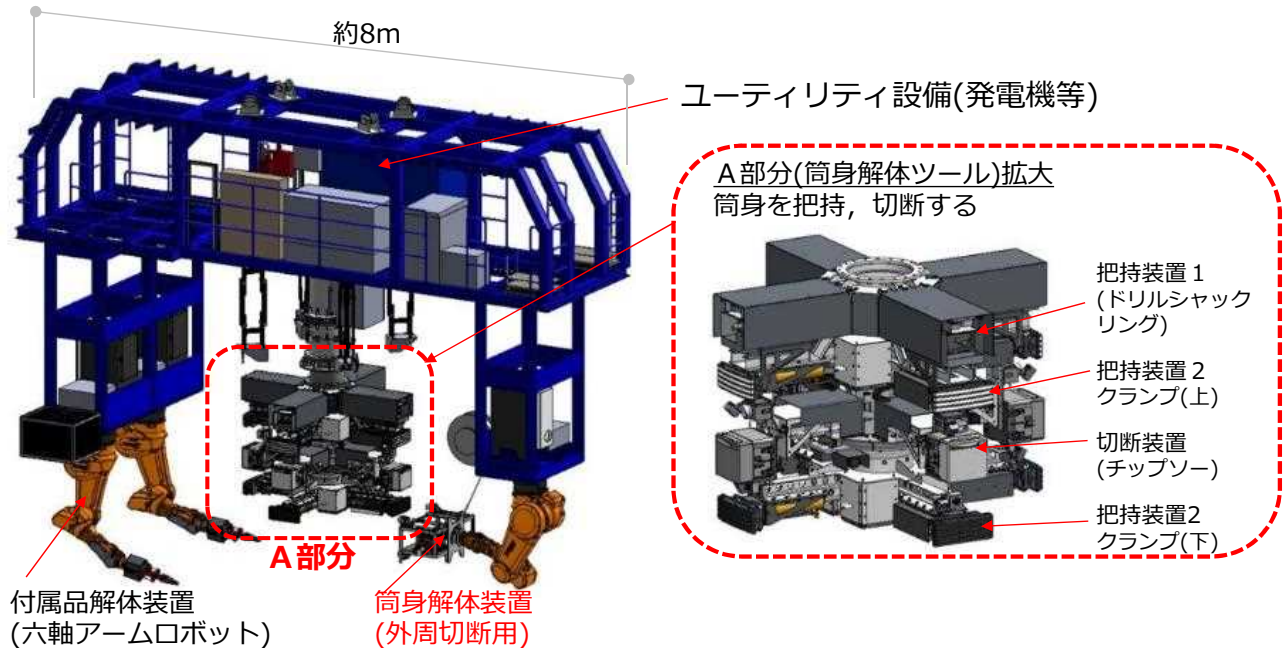
3. スケジュール

- 解体装置の改良作業もあり，11月初旬までは解体装置の性能検証作業を実施する予定。
- 11月初旬よりSTEP2の施工計画の検証を行った上で，排気筒解体工事工程を最終確定する予定。
- 2018年12月より，福島第一構内での準備作業(周辺設備養生・解体装置置き架台の組立等)に着手する計画。

	8月				9月				10月				11月				12月				1月	2月	3月				
	1W	2W	3W	4W	1W	2W	3W	4W	1W	2W	3W	4W	1W	2W	3W	4W	1W	2W	3W	4W							
装置製作	装置組立・調整																										
実証試験					STEP1 解体装置の性能検証												STEP2 施工計画の検証										
																	STEP3 作業手順の確認										
工事																	解体準備作業										排気筒解体

## 参考 1. 装置概要 (筒身解体装置)

- 筒身解体装置は、筒身解体ツール(下図のA部分)を筒身内に差し込んで、2種類の把持装置により把持・固定する。
- 筒身は、筒身内部よりチップソーにて切断する。
- 筒身切断時に干渉する付属品(梯子など)は、六軸アームロボットにより撤去する。
- 飛散防止剤は別装置にて散布する。



## 参考 2. 装置概要 (鉄塔解体装置)

- 鉄塔解体装置は、筒身解体ツール(下図のA部分：筒身解体装置と同じ)を筒身内に差し込んで、2種類の把持装置により旋回台(クロスハンガーユニット)を固定する。
- 旋回台の四隅から吊り下げた切断/把持装置により、支柱材および斜材を把持して切断する。
- 対象部材(支柱材, 斜材)に応じ、先端アタッチメントを取り替える。

